



働き方改革を支えるテレワークの基盤に VMware Horizon Cloud on Microsoft Azureを採用 シングルサインオンや2要素認証でユーザビリティも向上



「住まいの豊かさを世界の人々に提供する。」を企業理念として掲げ、家具・インテリア事業を広範なエリアで展開するニトリホールディングス。グループの成長戦略の一環として「働きやすい環境づくり」を経営目標に掲げる同社は、テレワークを支える仮想デスクトップ(VDI)基盤として Horizon Cloud on Microsoft Azure を導入しました。現在は本部勤務の社員を対象とした制度ですが、今後はクラウドの柔軟性と拡張性を活用しながら、さまざまなシーンに対応した働き方改革を加速していく考えです。

業界

RETAIL

課題

- 成長戦略で掲げる「働きやすい環境づくり」の推進
- 在宅勤務時でのPC持ち帰りの負担軽減
- 外部に持ち出したPCからの情報漏洩リスクの軽減

ソリューション

働き方改革の一環として、テレワークを支えるVDI基盤として Horizon Cloud on Microsoft Azure を導入。Windows10環境下でMicrosoft Office 365や自社構築の業務アプリケーションが利用できる環境を整備した。現在は本部勤務の社員を対象とした制度だが、クラウドの柔軟性と拡張性を生かしながら、さまざまなシーンに対応した働き方改革を加速する基盤と位置付けている。

導入効果

- Horizon Cloud on Microsoft Azure による働き方改革を支える基盤の構築
- 個人所有のPC、スマートフォンなどを利用したBYODの実現
- 従量課金体系によるVDIのランニングコストの最適化
- シングルサインオンや2要素認証によるユーザビリティ、セキュリティの向上
- ネットワークの高速化による業務効率の向上

導入環境

- VMware Horizon® Cloud Service™ on Microsoft Azure

ニトリ流「働き方改革」を実現する 新たなVDI環境の構築

家具・インテリア用品の企画・製造・物流・販売・社内システムに至る工程を自社で行う独自の「製造物流IT小売業」で急成長を続けるニトリホールディングス。店舗数は2018年度末で国内・海外を合わせて570を超え、2019年2月期まで32期連続で増収増益を達成しています。店舗の拡大に伴い社員数も増加し、約5,000名(2018年2月期)に上る国内の社員のうち女性は約3割ですが、インテリア用品などを扱う事業特性から、近年は若年層を中心に女性の比率が高まってきています。

2013年～2022年の10カ年の経営課題として「グローバル化と事業領域の拡大」を掲げる同社では、グローバルチェーンを支える組織改革の一環として、すべての従業員にとって「働きやすい環境づくり」を進めています。組織開発室 人事広報グループの中村麻衣子氏は「現場の声を働く環境に反映する目的で、出産・育児関連制度の拡充、短時間勤務や在宅勤務制度などの施策を推進し、働き方の選択肢は年々広がっています」と話します。

こうした制度の推進において新たな課題となったのが、従業員が利用するPC環境の整備です。札幌、東京、大阪の本部で働く社員が在宅やサテライトオフィスで仕事をする場合、これまでは社給のノートPCを持ち出していました。ここでは情報漏洩のリスクが懸念されます。在宅勤務の際にPCを持ち帰る必要があることも社員にとっての負担が大きく、子育てや介護で急遽出社ができなくなった場合は、休暇を取らざるを得ませんでした。

そこで同社が検討を開始したのが、従業員のより柔軟な働き方を実現するためのVDI(仮想デスクトップ)環境の導入です。その目的について、情報システム改革室 技術チームの中崎浩

氏は「個人PCを活用することでユーザーの利便性を高めながら、本人認証用の2要素認証、データ持ち出し制御による情報漏洩のリスクも軽減できる環境を目指しました」と説明します。

接続数に応じた従量課金型の 柔軟なライセンス体系を評価

ニトリがVDI基盤に求めた要件は、海外の拠点を含めていつでもどこからでも業務環境にアクセスが可能で、多様な業務に応じた働き方を実現できることでした。また同社の場合は繁閑の波が大きく、在宅勤務の利用時間も変動することに加えて、1～2週間の短期利用にも対応できる必要もありました。

システム面ではセキュリティはもちろんのこと、社内で利用しているOffice365との親和性や業務アプリケーションとの連携性も重要な要件でした。例えば、コミュニケーション手段として浸透しているSkype for Businessの安定的な利用、また自社で開発したアプリケーションも動作させる環境が必要でした。

こうした要件を満たすVDIソリューションを検討する中から同社を選んだのが、クラウドベースのHorizon Cloud on Microsoft Azureです。採用の理由について、情報システム改革室 室長の荒井俊典氏は次のように説明します。



株式会社ニトリホールディングス
情報システム改革室
室長
荒井 俊典 氏

「成長戦略の一環として働き方改革を推進するニトリグループにおいて、成長に追従できる拡張性、柔軟性があり、本人認証やデータ持ち出し制御が可能なセキュリティの充実が重要なポイントでした。また、利用者数が変動する状況において同時接続数に応じて課金される Horizon Cloud on Microsoft Azure のライセンス体系はまさに最適でした。今後は VDI 環境をシステム開発部門やコールセンター部門などさまざまな領域に拡充させていきます」

株式会社ニトリホールディングス
荒井 俊典 氏



株式会社ニトリホールディングス
情報システム改革室
技術チーム 東京
中崎 浩 氏



株式会社ニトリホールディングス
組織開発室
人事広報グループ
中村 麻衣子 氏

カスタマープロフィール

家具・インテリア用品（ホームファニッシング商品）の小売業を展開。現在、経営目標である「2032年、3,000店舗・売上高3兆円」に向けてグローバル化と事業領域の拡大に取り組んでいる。人材育成にも注力し、2019年秋の稼働に向けて「人材マネジメントプラットフォーム」を構築。人材情報の一元管理と社員のキャリア志向に沿った配置転換や学習環境の提供に向けて準備を進めている。

「将来的な拡張性、また Office365 や Active Directory との親和性を踏まえて、Horizon Cloud on Microsoft Azure の採用を決定しましたが、ここでは柔軟な働き方に対応したライセンス体系も大きな評価ポイントになりました。Horizon Cloud on Microsoft Azure は特定のユーザーではなく、接続数に応じた従量課金方式を採用しているため、使いたい従業員がいつでも利用することができ、コストメリットにもつながります」

検討時にパートナー経由で実施されたデモを通じて、Skype の動作やユーザビリティに関する不安要素を解消できたことも導入を後押ししました。

「Horizon Cloud on Microsoft Azure のライセンスだけで VDI へのシングルサインオン (SSO) や 2 要素認証の機能が利用できることは、社内で高評価でした。管理画面も直感的に使えることができ、操作性の高さがポイントでした。」(中崎氏)

セキュアな BYOD が実現し 在宅勤務社員の負担が軽減

2018年9月にスタートしたプロジェクトは、2019年1月15日に無事カットオーバーを迎えました。Horizon Cloud on Microsoft Azure は現在、在宅勤務制度利用者向けに Windows10 環境で利用しています。導入を機に端末の利用ルールも改め、社給のノート PC と iPhone に加え、個人所有の PC、スマートフォンなどの BYOD も許可しました。その結果、在宅勤務者は会社の PC を自宅に持ち

帰る必要がなくなり、より柔軟に働けるようになりました。

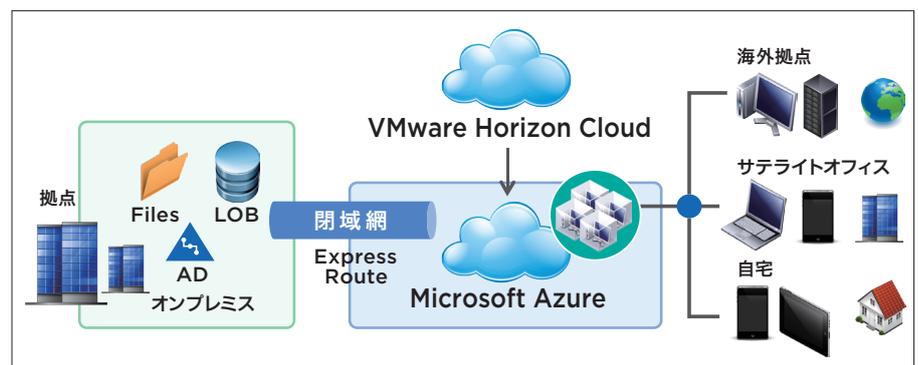
「切り替え直後は VDI とローカル PC の違いに戸惑った人もいましたが、慣れると使い勝手がいいと好評です。特に以前の環境はネットワーク帯域が細く、大容量の商品画像などをダウンロードすると長い待ち時間が生じて、在宅のメリットが生かせませんでした。今回、VDI 専用のネットワークが用意されたことでストレスもなくなり、業務効率が向上しました。」(中村氏)

Horizon Cloud on Microsoft Azure は在宅勤務の他にも、全国の店舗拠点を利用したサテライトオフィスや、外出時のモバイル端末、海外拠点での業務などでも利用され、同社のワークスタイル変革に貢献しています。

グループの持続的な成長を支える Horizon Cloud on Microsoft Azure の活用可能性

今後は、在宅勤務の対象を拡大していく施策に合わせて、Horizon Cloud on Microsoft Azure のライセンス数も増やしていく方針です。荒井氏は「VDI は在宅勤務だけでなく、システム開発部門やコールセンター部門などへの拡充など、さまざまな可能性が考えられます。こうした環境の整備は、ビジネスの持続的な成長を支えるグループ全体の経営課題です」と期待を寄せています。

誰もがやりがいを感じながら働ける職場環境づくりを目指して改革を進めるニトリの挑戦は、新たな VDI 環境の価値を最大限に活用しながら、これからも続いていきます。



図：ニトリの VDI 環境イメージ